

提案品目自己チェック票

記入要領に従って、提案予定品目について(1)～(3)のチェックを実施して下さい。
以下のチェックの結果、B欄にすべて○を記入できた場合は、様式2～5と、その記述の根拠となる資料等の作成を開始してください
提案資料作成後、提出の前に再度自己チェックを行い、C欄に○を記入してください

注意) 特定調達品目としての検討は、提案者の責任において提供された情報に基づいて実施します。万が一、提供された情報に故意に虚偽の内容が含まれている場合、又は記入内容に疑義が発生した場合は検討を取り止める場合がありますので、予めご了承ください。

提案資料作成前のチェック			提案資料作成後のチェック	
チェック項目	A この項目に該当する(又は必要事項の記入、記述の根拠となる資料の添付ができない)	B この項目に該当せず、必要事項の記入、記述の根拠となる資料の添付ができると思う	C この項目に関して、必要事項が記入され、記述の根拠となる資料が添付されている	事務局 記入欄
(1) 国及び独立行政法人等の公共工事において調達しないもの、または、極めて少ないものに該当しませんか？		○	○	
(2) 環境負荷低減に関する特性について、提案内容を客観的に評価するための資料がないものに該当しませんか？		○	○	
(3) 環境負荷低減以外の特性(品質確保(安全性、耐久性)の確実さやコストの適正さ等)を判断するための資料がないものに該当しませんか？		○	○	

↓

A 欄にひとつでも
該当項目がある
場合は提案をご
遠慮下さい

↓

C 欄にすべて○を記入できた場合は、
(4) を記入してください

↓

(4) 参考情報(いずれかに○)
提案しようとする品目を、

1. 昨年度自らが提案した	
2. 昨年度は提案していない	

↓

提案資料一式を提出してください

↓

昨年度の提案品目名称
昨年度の提案者名

環境省
総合環境政策局環境経済課 宛

平成14年7月* *日

グリーン調達品目提案書

提案者名	〇〇〇協会	印
代表者名	役職： 会長	氏名： 〇〇 太郎 印
所在地	〒 100-0001	
	東京都〇〇区〇〇〇...	
担当者連絡先 （事務局からの 連絡先になります）	部課名： 〇〇部 役職名： 部長 氏名： 〇〇 次郎 電話番号： 03-****-**** 内 線 FAX： 03-****-**** 郵便物等の送付先：〒 （団体所在地と同じ 場合は記入不要です）	

資材・機械 - 【様式3】

提案品目の概要

提案品目名と概要、グリーン調達品目としての判断の基準(案)等を記入してください。
(具体的な商品名の提案はご遠慮ください。)

グリーン購入法の趣旨に基づき、グリーン調達品目として、以下の品目を提案します。

(1)提案品目名 (昨年度提案を行った品目の再提案の場合は下欄にも記入)	高炉スラグ骨材							
	昨年度 の提案 品目名					昨年度 の提案 者名		
(2)提案品目の概要	溶鉱炉で銑鉄を製造する際に副産物として生成する溶融スラグを水などによって急冷又は徐冷し、粒度調整したコンクリート用等の用材。							
(3)提案品目の環境面のメリット	溶鉱炉で銑鉄を製造する際に副産物として生成する溶融スラグを原料として有効に利用し骨材として活用することにより、最終処分量を削減できる。							
(4)判断の基準(案)	天然砂(海砂、山砂)、天然砂利、砕砂又は砕石の一部若しくは全部を代替して使用できる高炉スラグを使用した骨材であること。							
(5)比較対象品目名	天然砂(海砂、山砂)、天然砂利、砕砂又は砕石							
(6)比較対象品目の選定理由	コンクリート用骨材の通常品である							
(7)提案品目の用途、使用する分野 (該当する分野に○をつけて下さい) (複数可)	コンクリート用骨材							
		建設機械	○	河 川	○	道 路	○	下水道
	○	公 園	○	港湾・空港	○	建 築		環境マネジメントシステム

個票1：提案品目の環境負荷低減に関する特性

- (1) 地球温暖化やエネルギー消費量の増大に関する特性
 特になし場合は、「特になし」と明記

○環境負荷低減の内容と程度		●環境負荷増大が懸念される内容と程度	
・資源の採掘、破砕加工エネルギーの削減		特になし	
環境負荷低減が生じる目的物のライフサイクルの段階		環境負荷増大が懸念される目的物のライフサイクルの	
1. 資材段階	○	1. 資材段階	
2. 建設段階		2. 建設段階	
3. 使用段階		3. 使用段階	
4. 解体段階		4. 解体段階	
5. 処理・処分段階		5. 処理・処分段階	

環境負荷低減内容と程度に関する自己評価の根拠
 環境負荷低減内容と程度について、具体的にご説明ください。

- ・現状の問題・問題点に関する科学的な説明
- ・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な理論
- ・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果
- 等

・現状の問題1) 特に西日本で細骨材として使用されている『海砂』は、採取することによる海域環境の破壊と、除塩のための大量水による水洗作業が必要。
 ・現状の問題2) 代替砂の主流とされる『砕砂』は、海から陸に採取場所が移動しただけで自然環境破壊を引きずるという議論があること、および破砕時の微粒分やスラッジの処理が必要。

記述の根拠となる資料の添付	有り		資料名:
記述の根拠となる資料の添付	なし	○	

環境負荷増大が懸念される内容と程度に関する自己評価の根拠
 環境負荷増大が懸念される内容と程度について、具体的にご説明ください。

- ・現状の問題・問題点に関する科学的な説明
- ・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な理論
- ・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果
- 等

特になし			
記述の根拠となる資料の添付	有り		資料名:
記述の根拠となる資料の添付	なし	○	

資材・機械 - 【様式4】

- (2) 廃棄物処分量に関する特性（リサイクル関係）
特になし場合は、「特になし」と明記

○環境負荷低減の内容と程度		●環境負荷増大が懸念される内容と程度	
- 天然材投入量の削減（瀬戸内の海砂他） - 使用した分だけ、天然材の投入量が削減		特になし	
環境負荷低減が生じる目的物のライフサイクルの段階		環境負荷増大が懸念される目的物のライフサイクルの	
1. 資材段階	○	1. 資材段階	
2. 建設段階		2. 建設段階	
3. 使用段階		3. 使用段階	
4. 解体段階		4. 解体段階	
5. 処理・処分段階		5. 処理・処分段階	

環境負荷低減内容と程度に関する自己評価の根拠
環境負荷低減内容と程度について、具体的にご説明ください。
・現状の問題・問題点に関する科学的な説明
・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な理論
・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果
等

- コンクリート用の高炉スラグ骨材の販売量は、1,483千tである。 - このうち、細骨材用の販売量は1,320千tである。 - 上記の販売量相当の天然材の投入量が削減されている。			
記述の根拠となる資料の添付	有り	○	資料名：鉄鋼スラグ協会「鉄鋼スラグ統計年報（平成12年度実績）」
記述の根拠となる資料の添付	なし		

環境負荷増大が懸念される内容と程度に関する自己評価の根拠
環境負荷増大が懸念される内容と程度について、具体的にご説明ください。
・現状の問題・問題点に関する科学的な説明
・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な理論
・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果
等

特になし			
記述の根拠となる資料の添付	有り		資料名：
記述の根拠となる資料の添付	なし	○	

資材・機械 - 【様式4】

- (3) 生物多様性の保全に関する特性（生物の生息環境の悪化および生態系の破壊に関する特性等）
特になし場合は、「特になし」と明記

○環境負荷低減の内容と程度		●環境負荷増大が懸念される内容と程度	
・天然材の開発抑制により、海・山等の環境が保全		特になし	
環境負荷低減が生じる目的物のライフサイクルの段階		環境負荷増大が懸念される目的物のライフサイクルの	
1. 資材段階	○	1. 資材段階	
2. 建設段階		2. 建設段階	
3. 使用段階		3. 使用段階	
4. 解体段階		4. 解体段階	
5. 処理・処分段階		5. 処理・処分段階	

環境負荷低減内容と程度に関する自己評価の根拠

環境負荷低減内容と程度について、具体的にご説明ください。

- ・現状の問題・問題点に関する科学的な説明
- ・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な理論
- ・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果
- 等

・現状の問題点 1) 海砂採取で深掘りされたため、貧酸素水が発生して魚類に悪影響が出る可能性がある。

記述の根拠となる資料の添付	有り		資料名:
記述の根拠となる資料の添付	なし	○	

環境負荷増大が懸念される内容と程度に関する自己評価の根拠

環境負荷増大が懸念される内容と程度について、具体的にご説明ください。

- ・現状の問題・問題点に関する科学的な説明
- ・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な理論
- ・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果
- 等

特になし

記述の根拠となる資料の添付	有り		資料名:
記述の根拠となる資料の添付	なし		

資材・機械 - 【様式4】

- (4) 有害化学物質に関する特性(大気汚染・水質汚濁等)
特になし場合は、「特になし」と明記

○環境負荷低減の内容と程度		●環境負荷増大が懸念される内容と程度	
特になし		・重金属溶出は検出限界値以下	
環境負荷低減が生じる目的物のライフサイクルの段階		環境負荷増大が懸念される目的物のライフサイクルの	
1. 資材段階		1. 資材段階	
2. 建設段階		2. 建設段階	
3. 使用段階		3. 使用段階	○
4. 解体段階		4. 解体段階	
5. 処理・処分段階		5. 処理・処分段階	

環境負荷低減内容と程度に関する自己評価の根拠
環境負荷低減内容と程度について、具体的にご説明ください。
・現状の問題・問題点に関する科学的な説明
・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な理論
・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果
等

特になし			
記述の根拠となる資料の添付	有り		資料名:
記述の根拠となる資料の添付	なし		

環境負荷増大が懸念される内容と程度に関する自己評価の根拠
環境負荷増大が懸念される内容と程度について、具体的にご説明ください。
・現状の問題・問題点に関する科学的な説明
・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な理論
・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果
等

・重金属溶出試験の結果、検出限界以下であることを確認している。詳細データは下記添付資料に記載されている。			
記述の根拠となる資料の添付	有り	○	資料名: 鉄鋼スラグ協会「鉄鋼スラグの特性と有用性」
記述の根拠となる資料の添付	なし		

資材・機械 - 【様式4】

(5) その他の環境負荷特性【記入： 特になし場合は、「特になし」と明記】

○環境負荷低減の内容と程度		●環境負荷増大が懸念される内容と程度	
特になし		特になし	
環境負荷低減が生じる目的物のライフサイクルの段階		環境負荷増大が懸念される目的物のライフサイクルの	
1. 資材段階		1. 資材段階	
2. 建設段階		2. 建設段階	
3. 使用段階		3. 使用段階	
4. 解体段階		4. 解体段階	
5. 処理・処分段階		5. 処理・処分段階	

環境負荷低減内容と程度に関する自己評価の根拠
 環境負荷低減内容と程度について、具体的にご説明ください。
 ・現状の問題・問題点に関する科学的な説明
 ・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な理論
 ・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果
 等

特になし			
記述の根拠となる資料の添付	有り		資料名:
記述の根拠となる資料の添付	なし		

環境負荷増大が懸念される内容と程度に関する自己評価の根拠
 環境負荷増大が懸念される内容と程度について、具体的にご説明ください。
 ・現状の問題・問題点に関する科学的な説明
 ・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な理論
 ・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果
 等

記述の根拠となる資料の添付	有り		資料名:
記述の根拠となる資料の添付	なし		

個票2:提案品目の環境負荷低減以外の特性

(1)該当する品質基準

該当する品質基準の有無(該当するものに○)

1.ある	○
2.作成中または作成予定	
3.ない	
4.不明	

該当する品質基準の列挙

添付	品質基準作成者	品質基準番号・名称	品質基準の対象資材
1	○ 日本規格協会	JISA5011-1コンクリート用スラグ骨材 - 第1部:高炉スラグ骨材	高炉スラグ粗骨材・細骨材
2	○ 日本規格協会	JISA5308レディーミクストコンクリート(附属書1レディーミクストコンクリート用骨材)	高炉スラグ粗骨材・細骨材
3	○ 土木学会	高炉スラグ骨材コンクリート施工指針	高炉スラグ粗骨材・細骨材
4	○ 日本建築学会	高炉スラグ細骨材を用いるコンクリート施工指針	高炉スラグ細骨材
5	○ 日本建築学会	高炉スラグ砕石コンクリート施工指針	高炉スラグ粗骨材

(2)目的物の性能を確保する条件(使用にあたっての制限条件等)

自己評価(該当するものに○)

1.比較対象と同等	○
2.比較対象と比べて制限が小さい	
3.比較対象と比べて制限が大きい	

自己評価の根拠となる具体的な使用条件、使用範囲、使用方法等

・JIS規格、学会による施工指針に基づいて施工が行われており、比較対象と同等の扱いといってよい。		
記述の根拠となる資料の添付 有り	○	資料名:
記述の根拠となる資料の添付 なし		

(3) コスト(単位当り単価等)

自己評価(該当するものに○)

1. 比較対象と同等	○
2. 比較対象と比べて安価	
3. 比較対象と比べて高価	

自己評価の根拠となる単価等

	提案品目	比較対象品目	根拠資料名
仕様	土木用水砕スラグ	コンクリート用骨材(砂)	建設物価2001年8月号 (全国18地域のデータ)
価格	小売単価 2,200 ~ 3,100円 / m ³	小売単価 2,400 ~ 3,750円 / m ³	
記述の根拠となる資料の添付 有り			資料名:
記述の根拠となる資料の添付 なし		○	

(4) 入手可能性(地域、季節による入手の難易度等)

自己評価(該当するものに○)

1. 比較対象と同等	
2. 比較対象と比べて容易	
3. 比較対象と比べて困難	○

自己評価の根拠となる具体的な地域性、季節性等

・臨海部の製鉄所で加工・生産されているため、製鉄所から遠距離の内陸部等では、輸送費が高くなる。			
記述の根拠となる資料の添付 有り		○	資料名: 鉄鋼スラグ協会による生産量分布図
記述の根拠となる資料の添付 なし			

(5) 使用実績等

提案品目の販売実績

1. すでに販売している	○
2. 今後、1年以内に販売する予定である	

提案品目の販売開始時期(で、2を選んだ場合は予定時期)

1975年前後から

年間出荷数量、普及率

	A提案品目	B提案品目・比較対象を含む全体	C提案品目の普及率
出荷数量 / 金額	コンクリート用高炉スラグ骨材: 1,483千t	コンクリート用骨材需要: 5億t	0.30%
根拠資料	鉄鋼スラグ協会「鉄鋼スラグ統計年報(平成12年度実績)」	鉄鋼スラグ協会「鉄鋼スラグ統計年報(平成12年度実績)」(原典は経済産業省推計)	A ÷ Bにより算出
記述の根拠となる資料の添付 有り			資料名:
記述の根拠となる資料の添付 なし		○	

資材・機械 - 【様式5】

提案品目の公共工事における使用実績（国及び独立行政法人等による調達実績）

	平成11年度	平成12年度	平成13年度
数量 /			

提案品目の主な使用例

提案商品等の主な使用例				
	年度	発注者 / 施工場所	工事名称	用途・使用数量
1	○	運輸省 茨城県鹿島町	消波ブロックケーソン上部工その他	
2	○	東京湾横断道路	東京湾横断道路地下連続実験工事	
3	○	東京電力 千葉県富津市	富津火力発電所	
4	○	民間 大阪府大阪市	ユニバーサルスタジオ建設工事	
5				
記述の根拠となる資料の添付 有り			資料名:	
記述の根拠となる資料の添付 なし				○

今後の普及の見込み、価格低減の見込み等

セメント分野の規模が頭打ち傾向にあること、社会的ニーズが骨材分野に傾斜していること等から、骨材生産を増強する会社が増加しており、スラグ業界として社会的にメーカーとして責任ある供給体制をとることができる環境にある。これまでの実績を見ると、最高300万tという実績があり、ここまでの対応はしてゆきたいと考えている。